



白川町 蘇原小学校にて ぎふ田んぼの学校活動事業を実施しました

農地・農業用排水路等の「農村資源」は、食料生産を担うだけでなく、生態系の保全や気候の緩和等の様々な役割があり、これを「農業・農村の多面的機能」と呼んでいます。

県では、農業・農村の多面的機能や農業用施設の役割等を伝えることを通じて、農村資源の大切さについての理解を深めて頂くため、将来を担う子ども達や地域住民等を対象に「ぎふ田んぼの学校活動事業」を実施しており、今回白川町 蘇原小学校 3年生児童を対象とした、「ぎふ田んぼの学校活動事業」を下記のとおり実施しました。

記

- 1 実施日時 平成30年7月12日（木）9:00～12:00
- 2 実施場所 加茂郡白川町蘇原地内
(蘇原小学校及び蘇原ふれあいセンター付近農業用排水路)
- 3 参加者 蘇原小学校 3年生児童19名 及び 教諭2名
他関係者 講師：安藤志郎先生
白川町役場 3名
岐阜県可茂農林事務所 6名
- 4 実施内容 ①はじめの言葉（蘇原小学校）
②挨拶（岐阜県可茂農林事務所）
③農業・農村の多面的機能についての説明（岐阜県可茂農林事務所）
 - ・田んぼや畑には、お米や野菜を作る以外にも、「洪水が起きないようにする」「土砂崩れや土砂の流出を防ぐ」「生きものを育てる」「美しい風景をつくる」といった、様々な多面的機能があることを説明しました。④生きものの採取（安藤志郎氏）
 - ・蘇原ふれあいセンター付近農業用排水路にてタモ網を用い生きものを採取しました。⑤生きもの学習会（安藤志郎氏）
 - ・安藤先生の指導のもと、採取した生きものを種類ごとに分け数を数えました。⑥おわりの言葉（蘇原小学校）

6 実施結果

【生きものの採取】 蘇原ふれあいセンター付近農業用排水路にて実施しました。

魚類：カワヨシノボリ(18)、カワムツ(11)、アマゴ(7)、スナヤツメ(4)、アブラハエ(2)

甲殻類：サワガニ(11)

貝類：カワニナ(7)

昆虫：チラカゲロウ(32)、コオニヤンマ(ヤゴ)(15)、トビケラ(6)、ガガンボ(5)、マツモムシ(3)、カワ
ゲラ(2)、サナエトンボ(ヤゴ)(2)、ギンヤンマ(ヤゴ)(1)、イトトンボ(1)

両生類：トノサマカエル(8)、ツチガエル(1)、アマガエル(1)

その他動物：ヒル(2)

【生きもの学習会】

・採取した生きものの中に、カワゲラやチラカゲロウ等、きれいな水にすむ生きものがいたこと、カエルには田んぼでハエなどの虫を取って食べてくれるという大切な役割があるということ、安藤先生から説明を受けました。

【児童らの感想】

- ・魚が取れてうれしい。あと、いろいろなことを知れてよかった。
- ・生きものがいっぱいいてよかった。
- ・田んぼの水路にたくさん魚がいてよかった。また魚取りをしたい。

7 実施状況写真

(農業・農村の多面的機能についての説明)



(生きもの採取 農業用排水路)



(生きもの採取 農業用排水路)



(生きもの採取 農業用排水路)



(生きものの同定と数確認)



(生きもの学習会)

